

地域高規格道路

くまもと し

おおづ まち

中九州横断道路(熊本市～大津町)

第2回 説明資料

平成26年6月30日

国土交通省 九州地方整備局

本日、ご審議いただく内容

1. 前回までの審議内容
2. 第1回意見聴取の概要
3. 第1回意見聴取の結果
4. 複数案の検討
5. 第2回意見聴取方法(案)

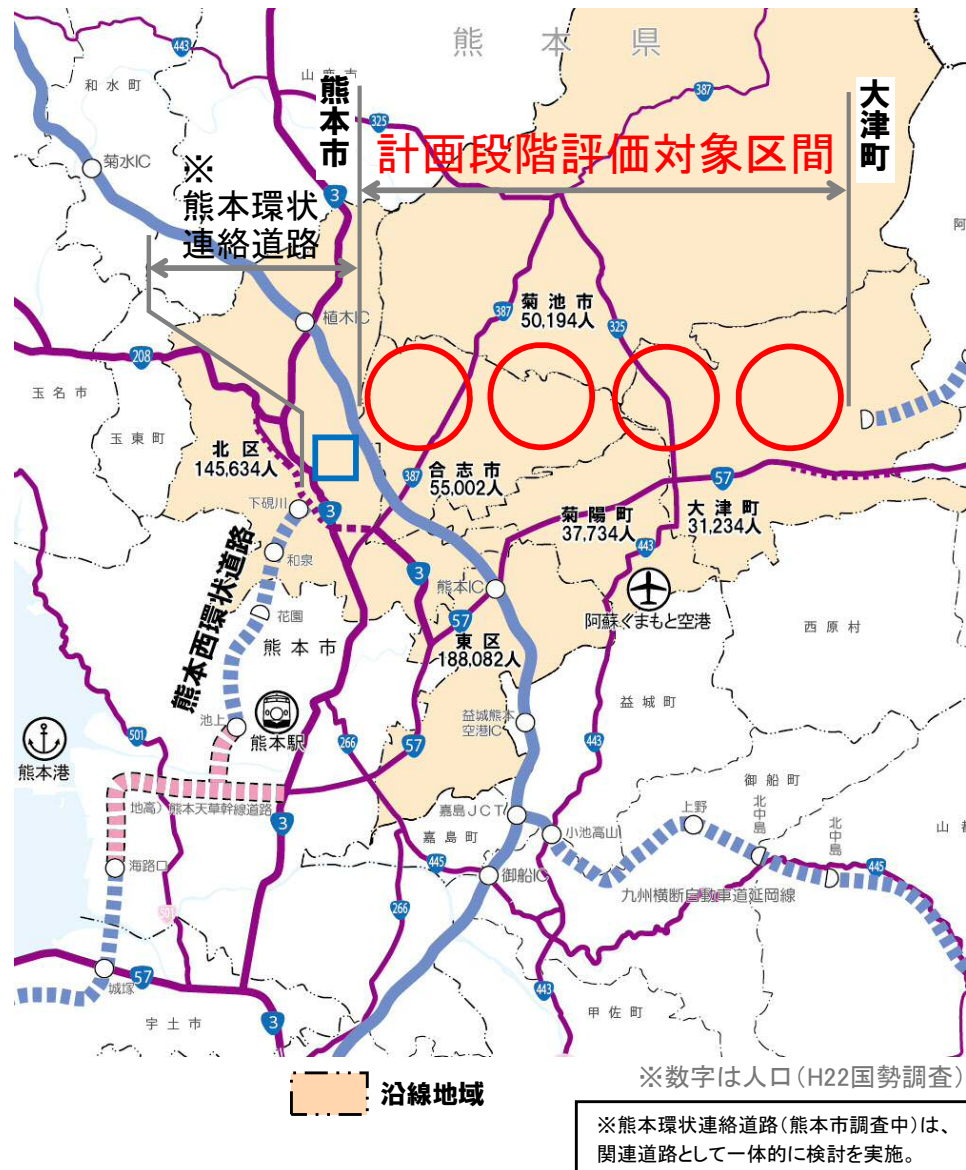
1. 前回までの審議内容

1-1. 評価対象区間

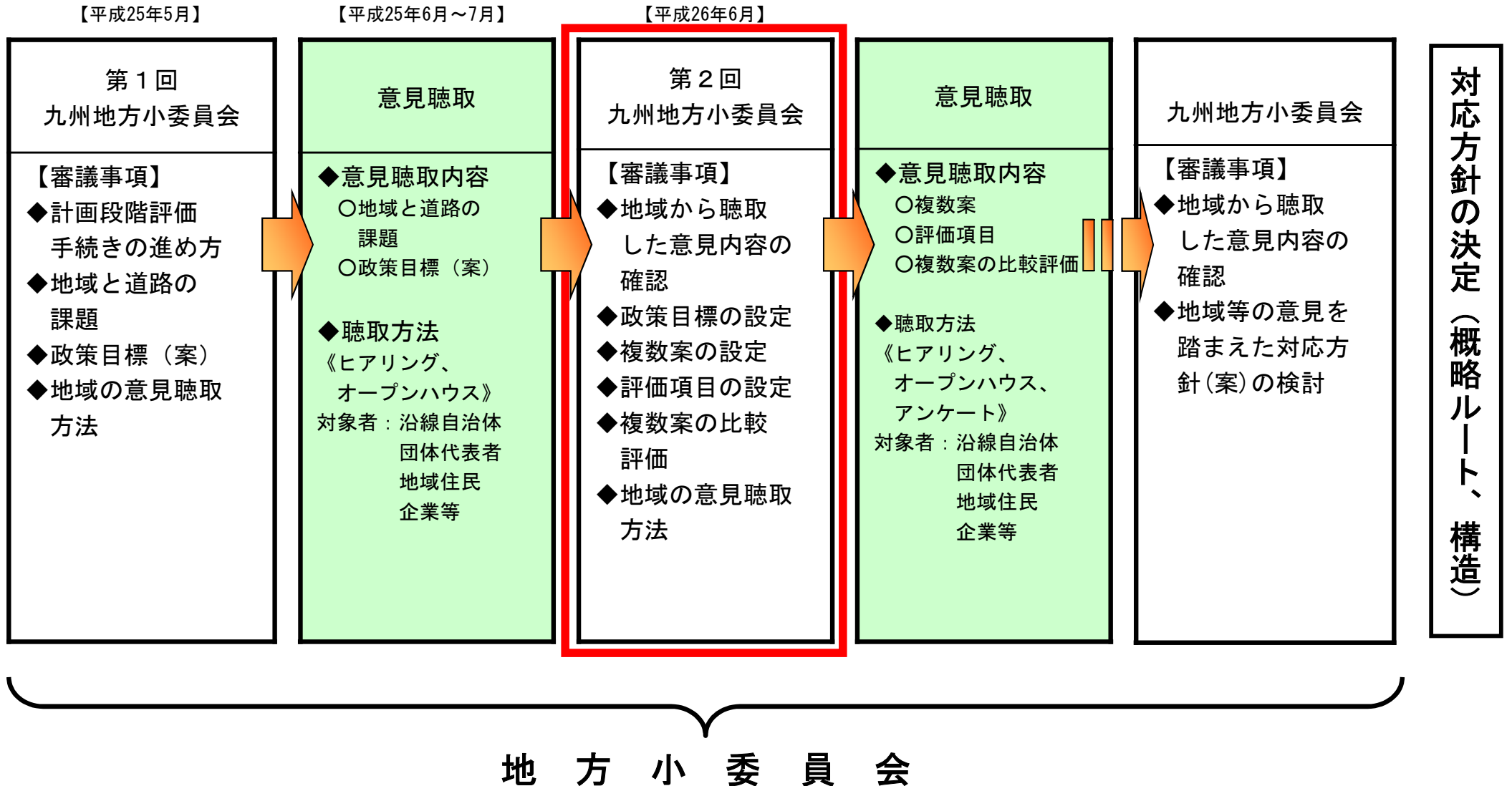
【広域図】



【対象自治体位置図】



1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



1-3. 前回審議内容<九州地方小委員会(1回目)>

九州地方小委員会(1回目)の概要

■実施日

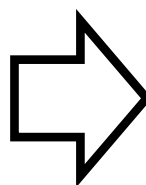
平成25年 5月29日

■主な議題

- ①地域や道路・交通の現状と課題
- ②政策目標の設定
- ③地域の意見聴取方法

九州地方小委員会(1回目)での主な指摘事項と対応状況

指摘事項
熊本～大分を結ぶ全線としての広域的な必要性について整理するべき。
熊本都市圏の骨格ネットワークとして、熊本西環状道路や熊本環状連絡道路と一体として考えるべき。



対応状況
広域物流(大分～熊本間の部品、ガソリン等の輸送)の観点、基幹産業(畜産業、農業)の観点を加え、意見聴取を実施した。
熊本都市圏の全体交通軸の観点も加え、意見聴取を実施した。

○中九州横断道路は、熊本環状連絡道路、熊本西環状道路など一体となり熊本都市圏の骨格交通軸(2環状11放射道路網)を形成し、都心部への交通の分散導入を促す道路。
(熊本都市圏都市交通マスタープラン)

【2環状11放射道路網イメージ】



1-4 . 前回審議内容を踏まえた地域の現状と課題 < 製造業(1) >

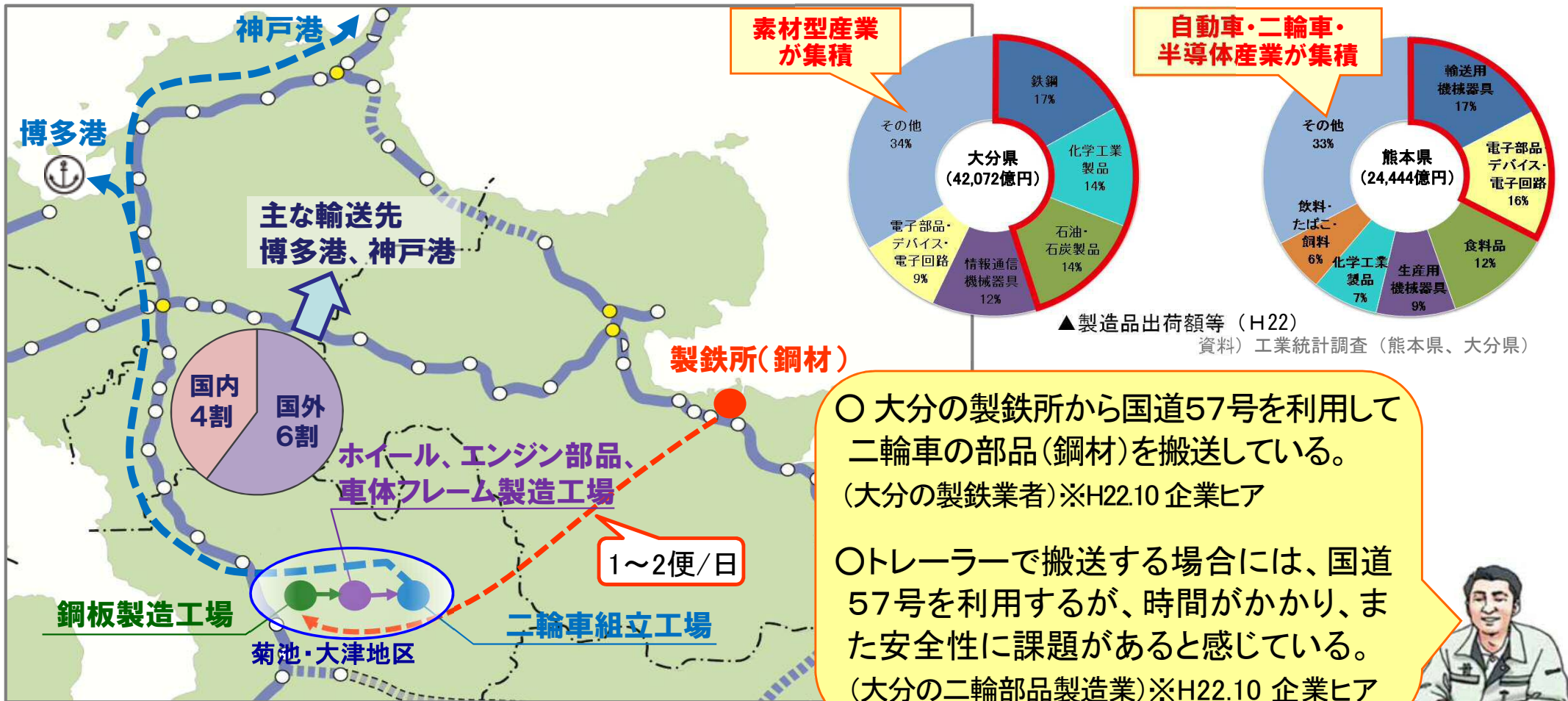
今回追加

将来像

○ビッグチャンスを生かす - 産業力の強化 (熊本県幸せ実感くまもと4カ年戦略)

現状・課題

○大分県から二輪車の部品(鋼材)を搬送し、エンジン、ホイール、車体フレーム等の部品と合わせて二輪車を製造している。完成した二輪車は博多港をはじめとする県外港から船積みされている。
○熊本-大分間は、一般道経由により時間を要し、走行性も悪く非効率な輸送となっている。



▲二輪車部品のサプライチェーン (一部の経路を記載)



1-4. 前回審議内容を踏まえた地域の現状と課題 < 製造業(2) >

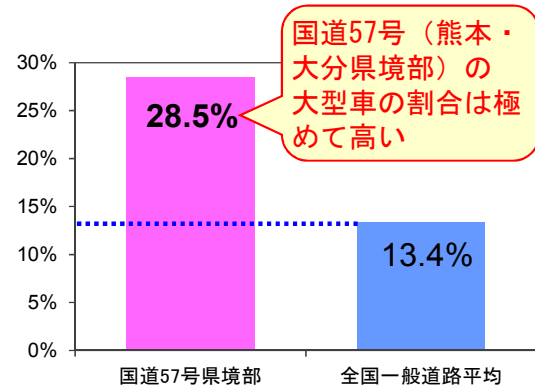
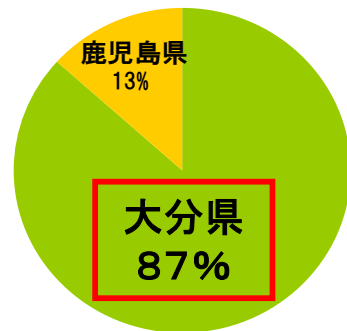
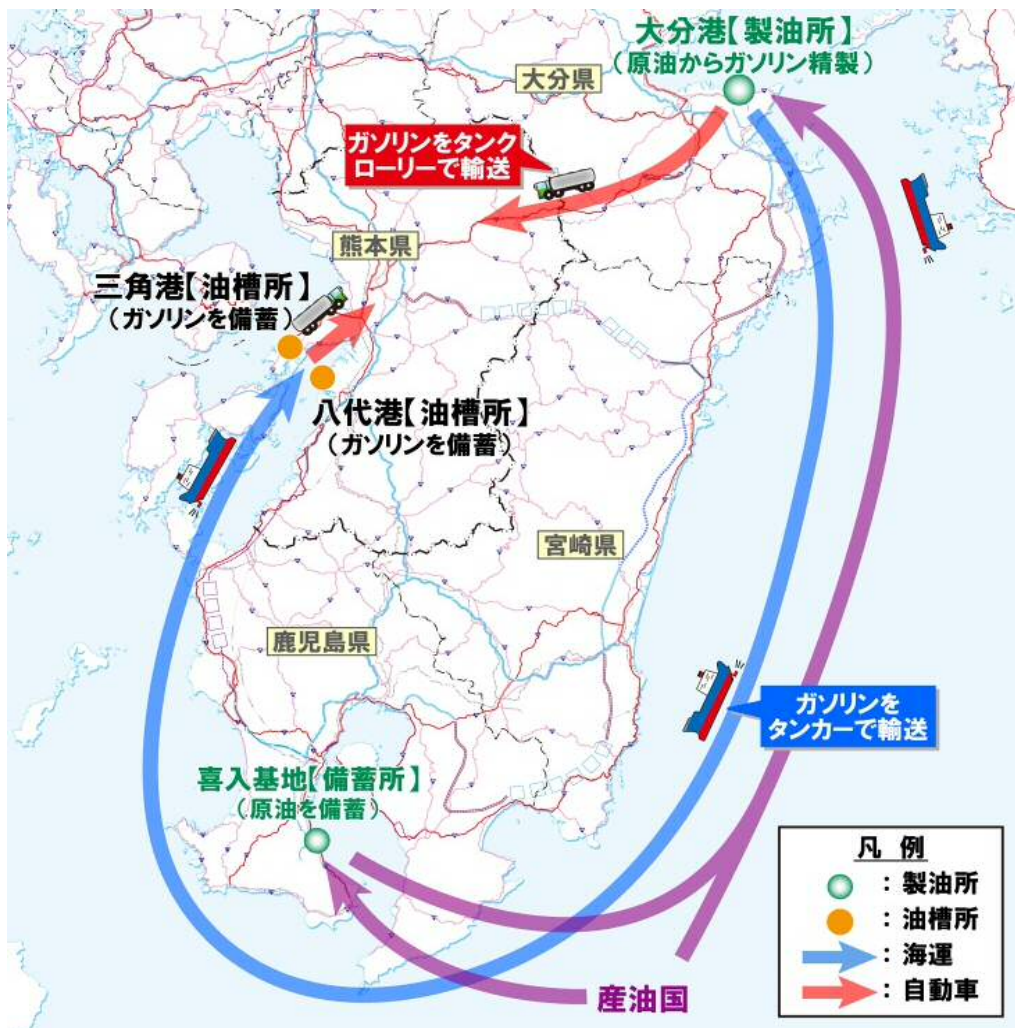
今回追加

将来像

○ビッグチャンスを生かす - 産業力の強化 (熊本県幸せ実感くまもと4カ年戦略)

現状・課題

○熊本県で消費される石油製品(ガソリン等)の約9割が大分県から運搬されている。
○一般道利用は時間がかかるうえに、後続車が連なる等ドライバーの精神的苦痛が大きい。



資料: H22道路交通センサス

▲熊本県への石油製品の発地別輸送割合

▲大型車混入率

・一般道利用は**時間がかかる。**
・後続車が連なるとドライバーの精神的苦痛が大きい。(ガソリン輸送業者)



▲ 国道57号の利用状況 (熊本・大分県境付近)

資料: 燃料油脂新聞社ヒアリング結果、石油取扱会社ヒアリング結果

▲ 大分県から熊本県へのガソリン輸送の状況

1-4. 前回審議内容を踏まえた地域の現状と課題〈畜産業〉

今回追加

将来像

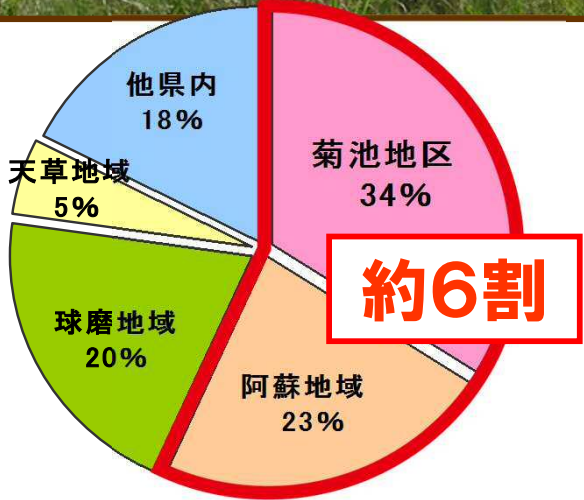
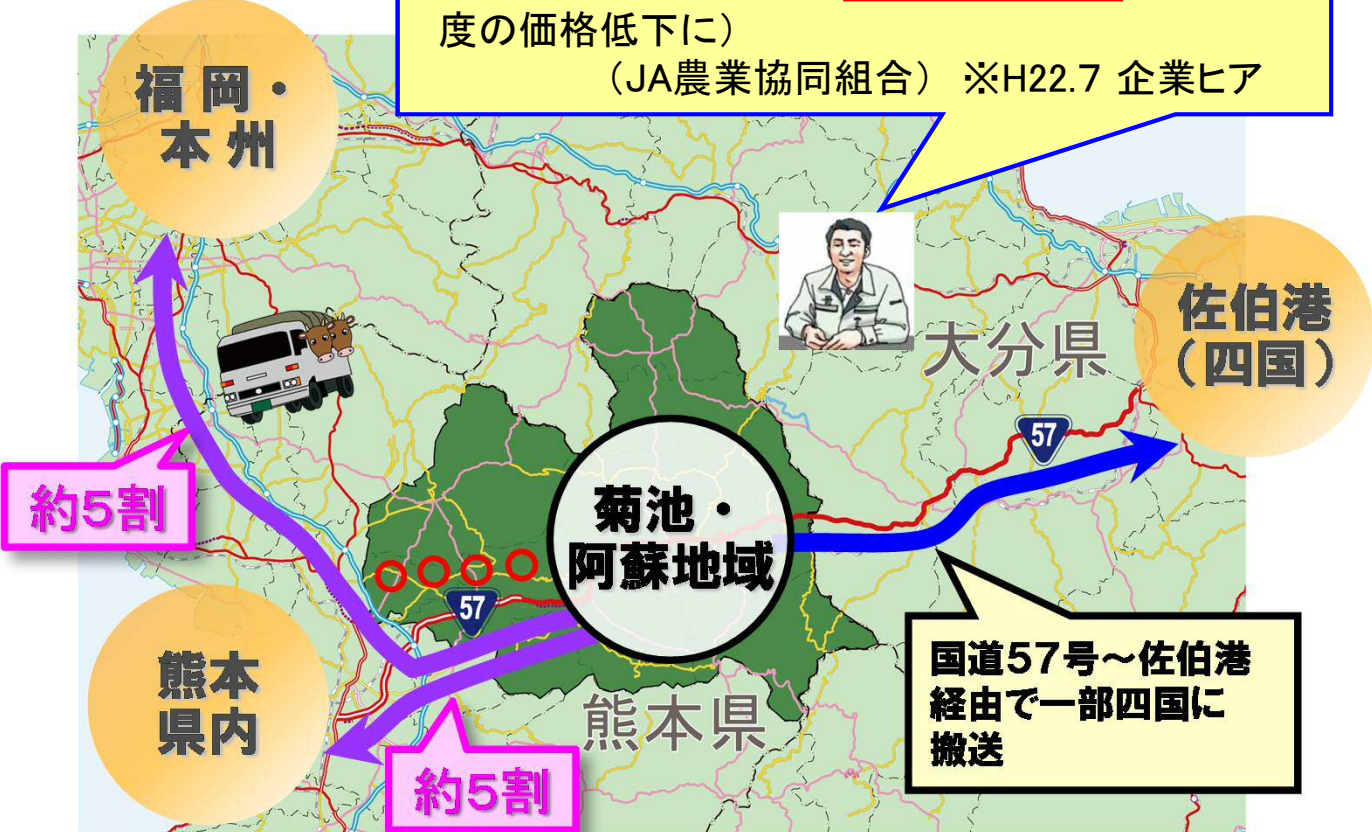
現状・課題

- 稼げる農林水産業への挑戦ー生産構造の変革と効率化(熊本県幸せ実感くまもと4カ年戦略)
- 熊本県は、肉牛の飼育頭数が全国4位で、そのうち菊池・阿蘇地域は約6割を占め、主な搬送先は福岡方面であるが、佐伯港から四国へも搬送されている。
- 搬送時間の長さや搬送経路の走行性の悪さによるストレスで**肉質が低下し、取引価格に影響**。

・搬送時間の長さや走行性の低下により、生体への**ストレスを誘発**

・ストレスを受けた生体は**取引価格に影響**(約1割程度の価格低下に)

(JA農業協同組合) ※H22.7 企業ヒア



資料：熊本県畜産統計

▲肉牛の飼養頭数〈平成23年〉

1-4. 前回審議内容を踏まえた地域の現状と課題〈農業〉

今回追加

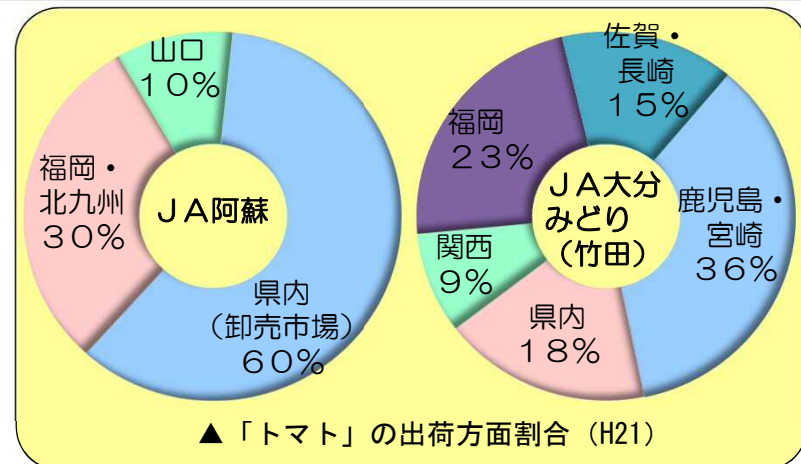
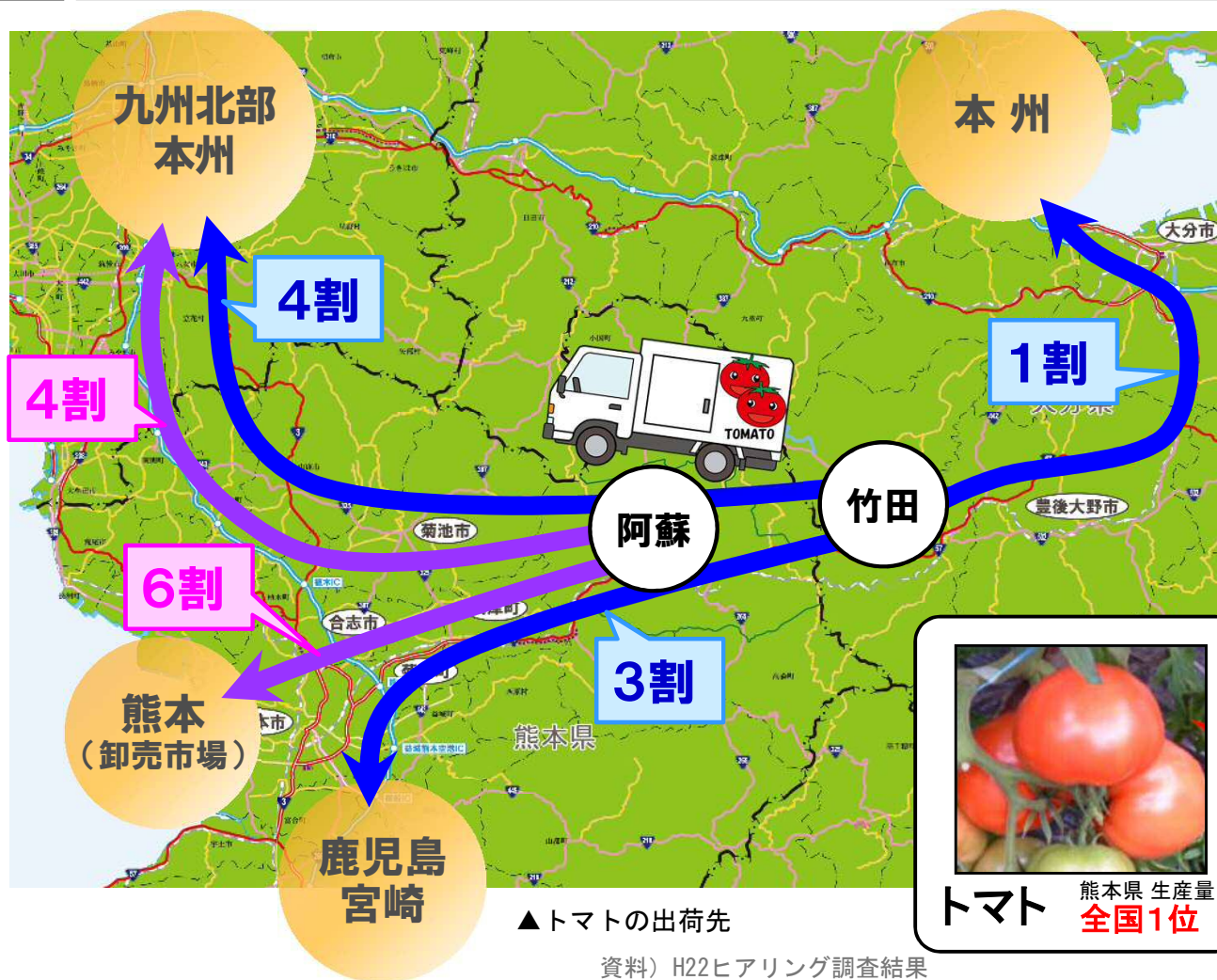
将来像

○稼げる農林水産業への挑戦ー生産構造の变革と効率化(熊本県幸せ実感くまもと4カ年戦略)

現状・課題

○熊本県は「トマト」の生産量が全国1位であり、阿蘇市は県内4位の生産量となっている。大分県の竹田市もトマトの生産量が多く、国道57号等を利用して各方面に出荷。

○市場までの搬送時間が長いため、**収穫可能時間が短く出荷量が制限される**とともに、**鮮度保持対策が必要となり予冷のコスト増が発生**



- ・生産農家は締め切り時間間際まで収穫するものの輸送時間がかかるため、**出荷量は限られ**、未収穫分は生鮮品のため**廃棄処分**に
- ・輸送時間が長いため**鮮度保持対策**が必要であり、**予冷によるコスト増**となっている。
(JA農業協同組合)

	地域の現状と課題
物流・産業	<ul style="list-style-type: none"> ○熊本～大分の移動には時間がかかり走行性も悪いため、製造品・農畜産品・ガソリン等の輸送に支障が生じている。 ○半導体企業等は、走行性が悪いため製品の破損リスクを問題視。 ○最寄りICまでの所要時間が30分以上を要し、企業が進出しにくい。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ○阿蘇地域の救急搬送は、約4割以上が管外搬送で全国平均の約2倍。 ○阿蘇地域からは、熊本市内の3つの第3次救急医療施設全てに60分以内の搬送ができない。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ○沿線地域周辺には九州有数の観光客を誇る阿蘇地域を含む多くの観光地が立地し、熊本県・大分県を周遊する観光客が多い。 ○阿蘇地域への県外観光客(国道57号自動車利用)の3割以上が目的地までの移動時間に不満を感じている。
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ○普段の生活(通勤、通学、仕事、買い物、行楽等)時に熊本都市圏が渋滞と約9割が感じている。 ○通勤・通学等の時間が読めないなど生活に不便が生じている。 ○交通集中により幹線道路及び生活道路の事故危険性が高い。

1-6. 前回審議内容を踏まえた政策目標の設定

今回修正

地域の課題

①物流・産業

- 熊本～大分等の広域移動には時間がかかるため、製造品・農畜産品・ガソリン等の輸送に支障が生じている。
- 半導体企業等は、走行性が悪いため製品の破損リスクを問題視している。
- 最寄りICまでの所要時間が30分以上を要し、企業が進出しにくい。

②医療

- 阿蘇地域の救急搬送は、約4割以上が管外搬送で、搬送時間は全国平均の約2倍。
- 阿蘇地域から第3次救急医療施設全てに60分以内の搬送ができない。

③観光

- 沿線地域周辺には多くの観光地が立地し、熊本県・大分県を周遊する観光客が多い。
- 阿蘇地域への県外観光客（国道57号自動車利用）の3割以上が目的地までの移動時間に不満を感じている。

④暮らし

- 普段の生活（通勤、通学、仕事等）時に熊本都市圏が渋滞と約9割が感じている。
- 通勤・通学等の時間が読めないなど生活に不便が生じている。
- 交通集中により幹線道路や生活道路の事故危険性が高い。

道路による要因

- 熊本～大分間の高速性や走行性が確保されていない。
- 生産拠点と高速IC間の高速性が確保されていない。

- 阿蘇地域から熊本市の第3次医療施設を結ぶ高速性が確保されていない。

- 熊本～阿蘇～大分間の高速性が確保されていない。

- 容量不足や交通集中により渋滞が著しい。
- 渋滞による追突事故などの死傷事故率の高い区間が存在。

政策目標

- 高速性や走行性の確保による産業の活性化

- 救急医療機関等への速達性・確実性の向上

- 高速性の確保による観光振興の促進

- 渋滞緩和による生活環境の改善

2. 第1回意見聴取の概要

2. 第1回意見聴取の概要 ~概要~

■意見聴取は、自治体・企業・団体ヒアリング及びオープンハウスによる地域住民ヒアリングなど、以下の内容を実施した。

対象	意見聴取方法	実施期間	回答方法	回答状況
自治体	ヒアリング	平成25年6月17日(月) ～6月20日(木)	熊本県、熊本市、合志市、菊池市、菊陽町、 大津町	6自治体より
団体	ヒアリング	平成25年6月27日(木) ～7月12日(金)	トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会 議所、商工会、消防署、警察署、農協、観光協 会等21団体	21団体より
企業	ヒアリング	平成25年6月27日(木) ～7月12日(金)	対象地域の主要企業108社(農林漁業、製造 業、小売業、サービス業、医療・福祉)	108社より
地域住民	オープン ハウス	平成25年7月25日(木) ～7月29日(月)	12会場(熊本市4、合志市2、菊池市2、菊陽 町2、大津町2)	オープンハウス 意見聴取数:730人

■設問事項

○課題・政策目標(案)と道路整備の必要性に対する意見を伺う。

■記者発表・チラシなどによる広報

○記者発表

平成25年7月3日(水)
平成25年7月24日(水)

※平成25年7月26日新聞掲載あり

○広報用チラシ・ポスター

・市役所、役場、各会場に
掲示・配布

○各自治体のHPに掲載

◆広報用チラシ

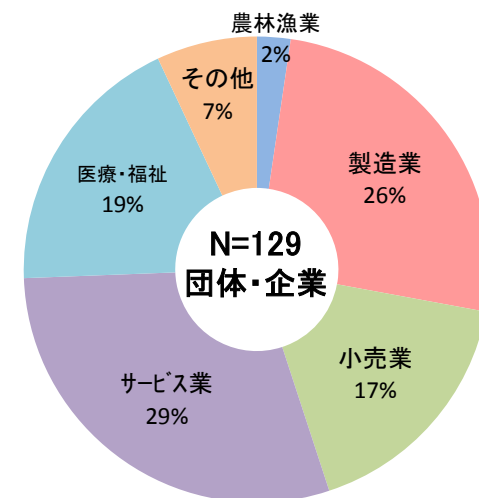


2. 第1回意見聴取 ～ヒアリング～

■ヒアリング実施状況



■ヒアリング実施団体・企業の内訳



対象：自治体
(1県3市2町)
団体(21団体)
企業(108社)

2. 第1回意見聴取 ～オープンハウス～

■オープンハウス実施状況

【合志市役所】



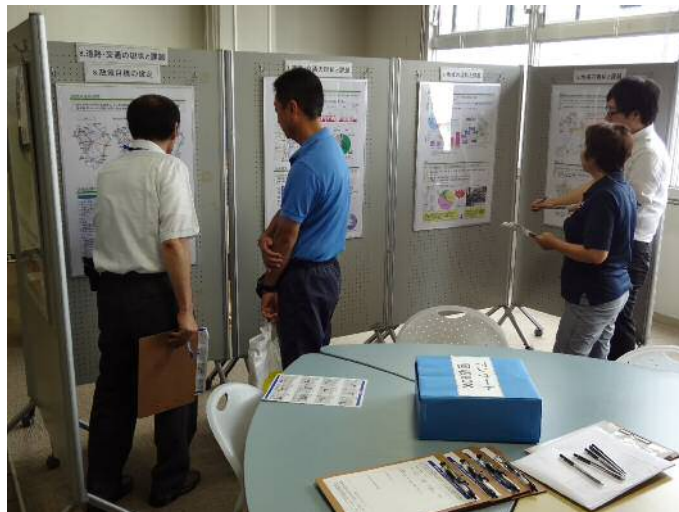
【菊池市役所】



【菊陽町役場】

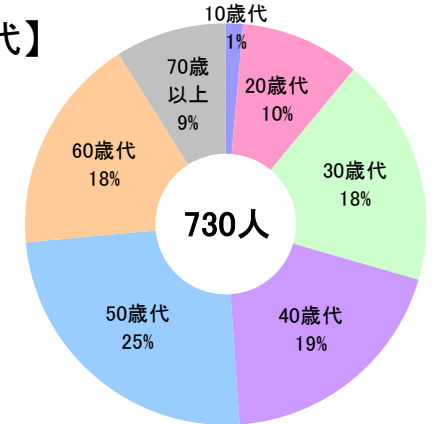


【大津町役場】

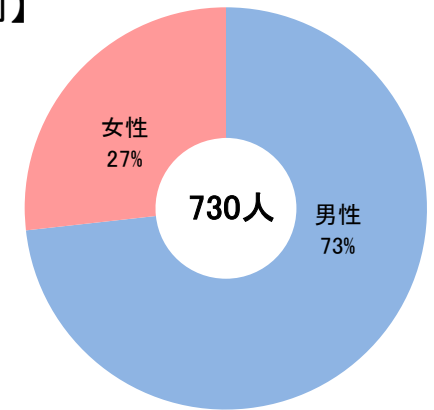


■オープンハウス意見聴取者の内訳

【年代】



【性別】



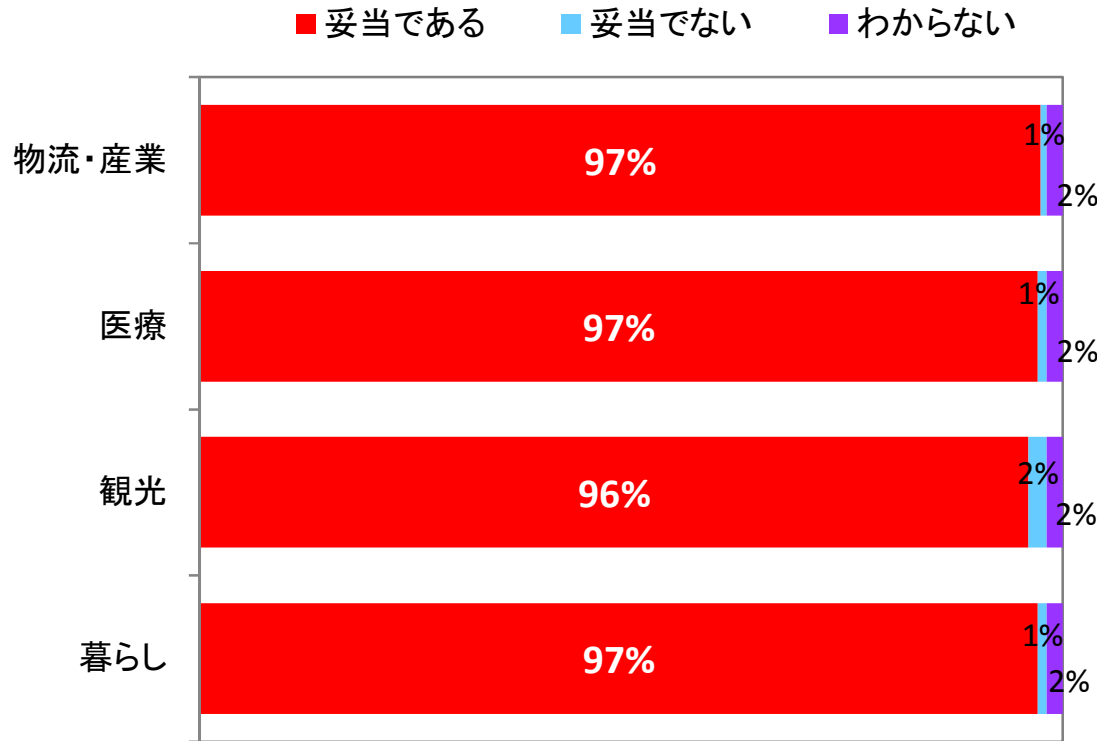
対象：地域住民
 会場：熊本市4、合志市2、
 菊池市2、菊陽町2、
 大津町2
 意見聴取数：730人

3. 第1回意見聴取の結果

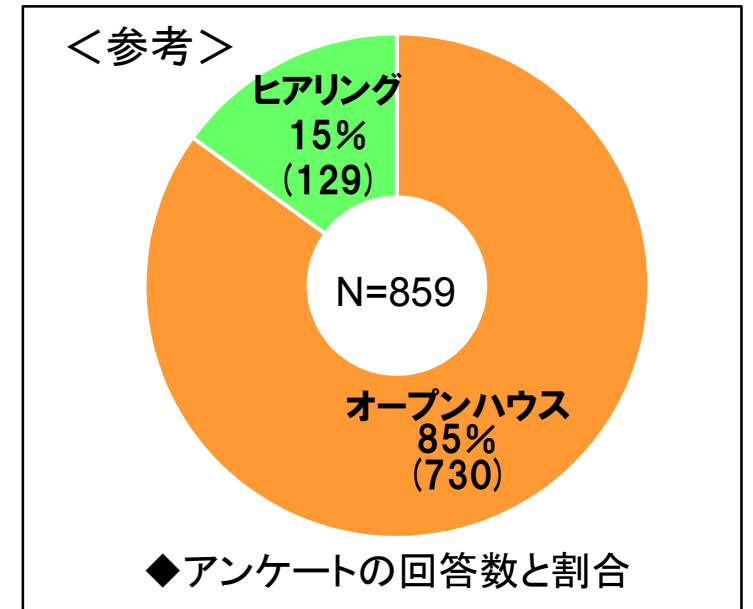
3. 第1回意見聴取の結果

■地域の現状と課題、政策目標の妥当性について、意見を伺った。

■提示した地域の課題・政策目標については、いずれの項目も『妥当である』という回答が多かった。



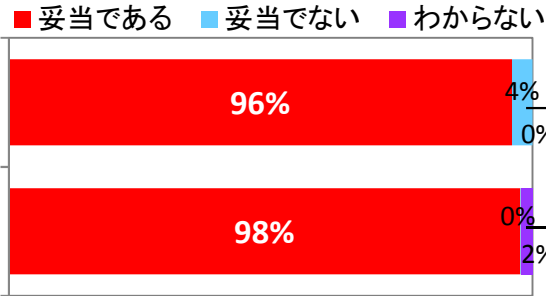
N=854



3. 第1回意見聴取の結果

■ 属性別に見た回答の傾向 【政策目標：①高速性や走行性の確保による産業の活性化】

- いずれの意見聴取方法においても、提示した地域の課題・政策目標に対して『妥当である』という回答が多かった。
- 自由意見においては、広域的な物流に関する現状の課題や、物流効率化に対する期待の声が多かった。
- 自治体意見においては、農畜産物の輸送効率化、新たな企業誘致に期待する意見があった。



- 国道57号は、物流業者にとって熊本～大分間の唯一のルートであり、時間がかかるのは大きな障害。(熊本市)
- 57号線を絶たれるとエネルギーの供給ができなくなることを市民は知らないだろう。大分との結びつきの認識を高めることで、道路の必要性を感じるのではないか。(熊本市)
- 出荷の際、時間的制約があるため、定時性が確保されると助かる。(菊池市)
- 大分へ精密機械を輸送する際、相手側の企業から、国道57号でなく走行性のいい九州縦貫道鳥栖周りでの輸送を指定されることもある。(大津町)
- 牛の生体は、旭志の畜産センターに集めた後九州外に輸送しているが、植木ICまでの道が狭くカーブも多く、走行性が悪い。(菊池市)
- 地元商店街からすると、道路整備により人が立ち寄りなくなり、地域経済が停滞するデメリットを心配している。(菊池市)
- 沿線の小売業にとっては集客に影響が出る。(熊本市)

【自治体意見】

- ・熊本港までのアクセス時間が短縮され、熊本港利用ニーズが高まり、船便数が増えて利便性が増すことにより、企業立地促進にも寄与する。(熊本市)
- ・高規格道路の整備は、農畜産物の輸送における鮮度の保持や傷みの防止に大いに有効である。(菊池市)
- ・高速性や走行性の確保は、新たな企業誘致への有利な条件として提示でき、雇用の場を増やせるものと期待しております。(大津町)

- 地方の道路整備の遅れは、地域の活性化にも大きく影響していると言える。企業等も高速道等の高規格道路周辺の交通利便性の高い所への立地となっているため、特に道路網の確立には期待する所が大きい。(熊本市)
- アクセスの利便性により、農業・商工業の販路拡大に大いに貢献できると思われれます。(菊池市)
- 中九州横断道路の完成により住民の利便性はもちろんだが、経済、特に物流が活発化し九州全体で良い効果が生まれると思う。(合志市)
- 道ができることによって、現在の道路にある店への影響も大きいので難しい面もあるかもしれない。(大津町)

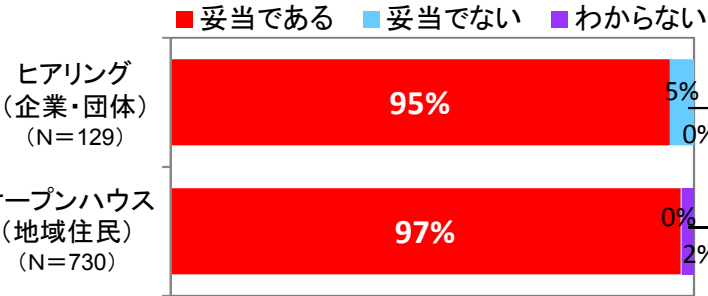
■ 妥当である ■ 妥当でない

N=233

3. 第1回意見聴取の結果

■ 属性別に見た回答の傾向 【政策目標：②救急医療機関への速達性・確実性の向上】

- いずれの意見聴取方法においても、提示した地域の課題・政策目標に対して『妥当である』という回答が多かった。
- 自由意見においては、陸路での救急搬送ルートが確保されることによる搬送時間の短縮や通勤範囲の拡大による医師確保に対する期待の声もあった。
- 自治体意見においても、救急搬送時に係る速達性・確実性の向上に期待する意見があった。



- 現在の救急搬送ではドクターヘリが活躍しているが、1回飛ぶとそれなりのメンテナンス時間がかかり、ヘリだけでカバーするのは限界がある。やはり**救急車(陸路)での搬送ルート**を確保することは大切である。(菊池市)
- 渋滞で完全に止まってしまうと追い越しスペースをつくれないうえ、**緊急車両が通行できないこともある**。(菊池市)
- 脳梗塞などの緊急を要する場合(脳梗塞はリミットが3時間)、熊本市内の患者さんと助かるが、**阿蘇にお住まいの患者さんの場合、助からないこともある**。(菊陽町)
- 救急搬送について、阿蘇地域は大変である。ドクターヘリでかなり助かっている。ただし、**ドクターヘリはランデブーポイントにしか降りることができない**。(大津町)
- 現在、久留米、福岡から来られる先生もいるが、道路ができると病院の通勤時間も短縮されるので、**広範囲から通勤できる先生が増える**と思う。(菊陽町)
- **阿蘇に病院**を作ればいい。(菊陽町)
- 道路整備に何十億円もの税金を投入するより、阿蘇地域で**ドクターヘリを数機増やした方が、救急医療の観点からは効果があるように思われる**。(大津町)

【自治体意見】

- ・阿蘇地域は高度な医療サービス(三次救急医療施設)を熊本市内に依存しているが、**搬送時間を要していることは重篤患者にとって、致命的な課題**となっている。(熊本県)
- ・**緊急医療機関への速達性・確実性の向上**に期待する。(菊池市)

- 患者さんの**病院への選択肢が増えたり**、緊急時の搬送も時間が短縮されると思う。(熊本市)
- **緊急車両(救急車・消防車)が早く現場に到着**できるように整備してほしい。(菊池市)
- 地方から中央の大型病院への搬送時間の長さが分かったので**中九州横断道路の整備で改善されれば良い**と感じました。(大津町)
- **熊本市内の病院へ行くにも時間がかかり**予約の時間に間に合わないくらい渋滞している。(特に雨の日) (大津町)
- 道路を整備するより**病院を建設した方が安いのではないか**。(大津町)

■ 妥当である ■ 妥当でない

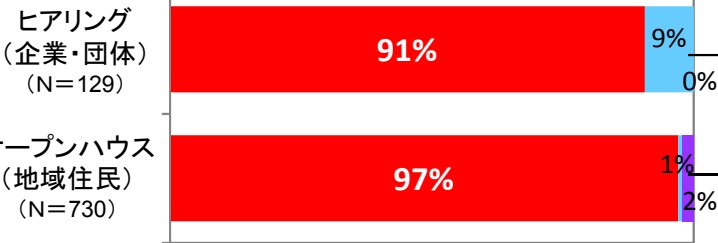
N=88

3. 第1回意見聴取の結果

■ 属性別に見た回答の傾向 【政策目標：③高速性の確保による観光振興の促進】

- いずれの意見聴取方法においても、提示した地域の課題・政策目標に対して『妥当である』という回答が多かった。
- 自由意見においては、特に阿蘇地域へのアクセス向上による観光客増加に対する期待の声が多かった。一方、路線が整備されることによる通過交通の増加を危惧する意見もあった。
- 自治体意見においては、阿蘇・菊池地域はもちろん、大分方面等との周遊観光に期待する意見があった。

■ 妥当である ■ 妥当でない ■ わからない



【自治体意見】

- ・阿蘇や菊池方面へのアクセス性が向上し、移動時間短縮により滞在時間が延長されることで、観光振興が期待できる。(熊本県)
- ・中九州横断道路の整備により九州最大の観光地である阿蘇地域へのアクセス性が向上し熊本や天草を含めた圏域全体の交流人口の増加に伴う、本市の観光産業の活性化が期待できる。(熊本市)
- ・観光面で、阿蘇地域や大分方面への移動需要が増大すると考えられますが、現在の道路事情では移動にかかる時間や走行性において支障があると認識しています。(合志市)

- 阿蘇から高速道路へのアクセス性が向上すれば、ツアーの周遊可能地域が広がり、より顧客ニーズに合わせたサービスを提供することができる。(熊本市)
- 熊本駅までのアクセスが悪い。熊本駅から観光客をどう取り込むかが熊本の課題である。海外の観光客は阿蘇をめぐっている。熊本から阿蘇に至る幹線道路がほしい。(合志市)
- 九州新幹線の開業後、工場を訪れる修学旅行生が増加した。立寄り場所が増えることで、地域にお金が落ちていく。そのためには、時間の計算ができ、目的地でゆっくりできるようにしないと地域は良くならない。(大津町)
- 今回の路線が整備されて、アクセス性がよくなれば、大分方面の観光客をうまく取り込めると思う。(大津町)
- 現在福岡から阿蘇方面へ向かう途中の海外の観光客のツアーバスの立ち寄りが多くなっているが、供用後の増加が期待される反面、通過点になる恐れもあるので、良いことばかりとは限らない。(菊陽町)

- 阿蘇の休日の帰りはPM3:00にはもう渋滞している。この解消の為にもこの道路を整備して欲しい。(熊本市)
- 中九州道路が繋がることで、九州新幹線によって来熊して下さる観光客の方も合志や阿蘇などにも行きやすくなり、熊本の魅力もさらに伝えていけると思う。(合志市)
- 国道57号は慢性的な渋滞とともに道路構造上、危険箇所も多く、世界的にも有数な規模と景観を持つ阿蘇地域の観光資源を活用するうえでの阻害要因になっている。(合志市)
- 菊池市に来られる観光客にとって、交通アクセスの面で不便を感じている。(菊池市)
- 観光面では、熊本は素通りされてしまうことが多く、高規格道路をつくることで逆に他地域に流れる量が増えるのではないかと。(熊本市)

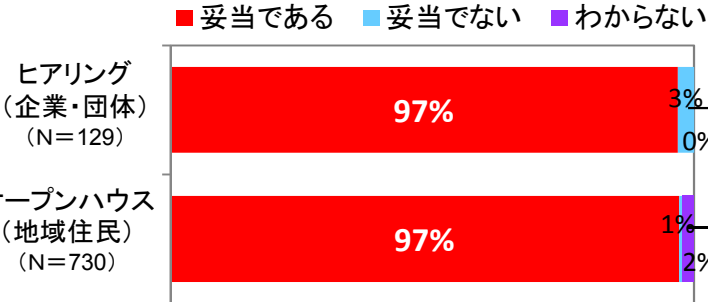
■ 妥当である ■ 妥当でない

N=246

3. 第1回意見聴取の結果

■ 属性別に見た回答の傾向 【政策目標：④渋滞緩和による生活環境の改善】

- いずれの意見聴取方法においても、提示した地域の課題・政策目標に対して『妥当である』という回答が多かった。
- 自由意見においては、熊本中心部等で発生している通勤時間帯の渋滞緩和を望む声が多い。なお、道路の整備が進むと交通が集中して新たな渋滞が発生することを危惧する意見もあった。
- 自治体意見においても、渋滞解消に加え、沿線住民の・生活環境の向上に期待する意見があった。



- 阿蘇・大津地域からの通勤者にとっては通勤時間が短縮できる。現状では渋滞を避けるために早い時間に出社している。理想を言えば定時ギリギリに出社できる環境であれば、本人の負担軽減になると共に会社としても助かる。(熊本市)
- 合志から熊本市内に行く場合、時間帯によっては普段の2~3倍の時間がかかる。(合志市)
- 朝夕渋滞しているので分散できればいいと思う。(菊陽町)
- 到着時間が予想できないので困る。熊本市内から通勤する従業員がいるが、通勤に1時間以上かかるので、時差出勤を行っている。(大津町)
- 市内中心部は渋滞も多いため、安全性・混雑緩和の為に、なるべく熊本市中心部に交通が集中するのを分散させるような道路が必要。(熊本市)
- 菊池の農道を通行する車両が多い。地元農場としては一般車両にはあまり通行してもらいたくない。(特に大型車両)(熊本市)
- 新設道路により逆に渋滞するケースもあるのではないかと。(合志市)

【自治体意見】

- ・企業誘致などによる企業の進出に伴い、町内全域で通勤時間帯の慢性的な渋滞を引き起こしており、バス等の公共交通機関の遅延防止等の渋滞緩和に向けた取組みが必要。(菊陽町)
- ・高規格道路が整備され利用がすすめば、在来の幹線道路の渋滞が緩和され、生活道路に流れ込んでいる通勤車両等の通行量が減少し、事故の危険性が減少するとともに大型車の通行も減少され、沿線の住民の道路の振動・騒音などの問題が解消され生活環境が大いに改善されると思われます。(大津町)

- 通勤等での改善が早く進むと会社への通勤時間の短縮に繋がり助かる。(菊陽町)
- 国道57号の慢性的な渋滞を早く解消して欲しいです。急用があっても車の中でイライラしてしまうばかりです。(大津町)
- 住民として、暮らしの弊害となっている交通渋滞の解消は望ましい。特に生活道路と流通・産業ルートが分けられることで安全が守られるのではと思う。(大津町)
- 慢性的な渋滞のため、抜け道として狭い道路を一部の車両が猛スピードで通行する。事故の可能性が高い。(大津町)
- 道路の整備が進むと、そこに自動車が集まって渋滞が発生する。(熊本市)

■ 妥当である ■ 妥当でない

N=444

3. 第1回意見聴取の結果 その他意見(意見数1,231件)

【道路整備・早期整備】

- 現状の国道57号は、慢性的な渋滞等により定時性や安定走行性が確保されておらず、地域や道路・交通に課題がある。それらの課題を解決するためには、今回の計画段階評価対象区間(熊本市から大津町間)の早急な整備が必要である。(熊本県)
- 九州北部災害では熊本県～大分県のルートが寸断され物資輸送と観光の人流・物流の両面で最大級の被害となりました。南海トラフ巨大地震が近年中において発生が予想されており、大規模災害対策を含めて中九州横断道路の早期整備を要望します。(熊本市)
- 大分までの道路整備が必要。特に時間短縮のために自動車専用道路での整備が必要。(熊本市)

【ルート・IC・道路構造】

- 各主要地からアクセスしやすいICを設置するようにして欲しい。(熊本市)
- 菊池・大津地区工業団地の中心部を通るルートが適当である。(菊池市)

【自然環境・景観保全】

- 周辺の自然環境や騒音に配慮した道路づくりを行って頂きたい。(熊本市)
- 道路を作る為の森林伐採は最低限にお願いします。(大津町)

■ 自治体意見

■ 団体・企業ヒアリング

□ オープンハウス

3. 第1回意見聴取の結果 その他意見(意見数1,231件)

【整備コスト】

建設費用や費用対効果の妥当性をしっかりと見極めて、道路整備を行って欲しい。(菊陽町)

最低予算で最高のものになるようにしてほしい。(菊池市)

【地域活性化】

現在は、県南北へのアクセスは比較的充実しているが、九州東側へのアクセスが非常に不便である。中九州横断道路の完成により住民の利便性はもちろんだが、経済、特に物流が活発化し九州全体で良い効果が生まれると思う。(合志市)

九州自動車道及び東九州自動車道が連絡されることによって、様々な地域圏との交流が可能になり、産業発展や地域活性化が期待されることと考える。(菊池市)

【その他】

有料の道路だと出発地、目的地間の移動になってしまう。無料にして中間地点でも気軽に降りられるようにすれば地域への立ち寄りも増えるのではないか。(菊池市)

災害時の緊急輸送路として、国道57号以外にもう1本バックアップ路線があるほうがよい。(大津町)

■ 自治体意見

■ 団体・企業ヒアリング

□ オープンハウス

3. 第1回意見聴取の結果 自治体への意見聴取結果(再掲)

【熊本県】

- ・阿蘇地域は高度な医療サービス(三次救急医療施設)を熊本市内に依存しているが、搬送時間を要していることは重篤患者にとって、致命的な課題となっている。
- ・阿蘇や菊池方面へのアクセス性が向上し、移動時間短縮により滞在時間が延長されることで、観光振興が期待できる。

【熊本市】

- ・熊本港までのアクセス時間が短縮され、熊本港利用ニーズが高まり、船便数が増えて利便性が増すことにより、企業立地促進にも寄与する。
- ・中九州横断道路の整備により九州最大の観光地である阿蘇地域へのアクセス性が向上し熊本や天草を含めた圏域全体の交流人口の増加に伴う、本市の観光産業の活性化が期待できる。

【菊池市】

- ・高規格道路の整備は、農畜産物の輸送における鮮度の保持や傷みの防止に大いに有効である。
- ・緊急医療機関への速達性・確実性の向上に期待する。

【合志市】

- ・観光面で、阿蘇地域や大分方面への移動需要が増大すると考えられますが、現在の道路事情では移動にかかる時間や走行性において支障があると認識しています。(合志市)

【大津町】

- ・高速性や走行性の確保は、新たな企業誘致への有利な条件として提示でき、雇用の場を増やせるものと期待しております。
- ・高規格道路が整備され利用がすすめば、在来の幹線道路の渋滞が緩和され、生活道路に流れ込んでいる通勤車両等の通行量が減少し、事故の危険性が減少するとともに大型車の通行も減少され、沿線の住民の道路の振動・騒音などの問題が解消され生活環境が大いに改善されると思われま

【菊陽町】

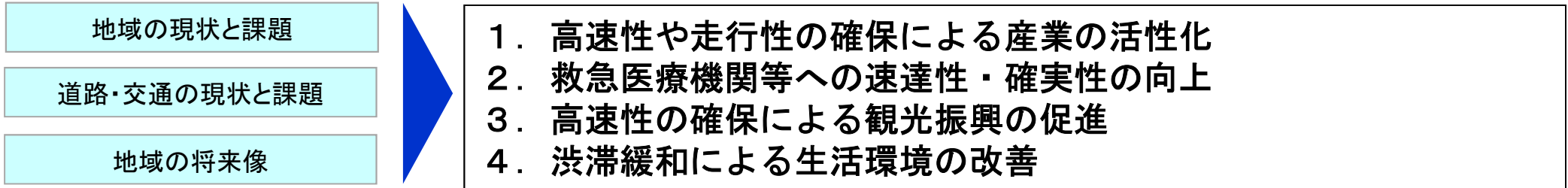
- ・企業誘致などによる企業の進出に伴い、町内全域で通勤時間帯の慢性的な渋滞を引き起こしており、バス等の公共交通機関の遅延防止等の渋滞緩和に向けた取組みが必要。(菊陽町)

4. 複数案の検討

4. 複数案の検討<政策目標の設定>

■ 政策目標の設定

■地域の課題や将来像等を踏まえ、4つの政策目標を設定し、これら目標を達成するための対策案を検討。



■ 対策案の検討

【物流・産業】

熊本～大分間の移動時間短縮、九州縦貫道へのアクセス強化、走行性の向上による物流効率化に伴う産業活動の活性化

【医療】

熊本市の第三次救急医療機関等への速達性、確実性の向上により緊急医療体制を支援

【観光】

国内屈指の観光地である阿蘇地域のポテンシャルを最大限に活かし、連絡性向上により菊池地域など周辺観光施設と一体となった広域的なネットワークの確保

【暮らし】

熊本都市圏における交通渋滞の緩和による通勤時間の短縮、交通安全性の向上等、生活環境の改善

○対策案を検討する上での配慮事項

【生活環境・自然環境の保全と調和】

【沿道利用】

【経済性への配慮】

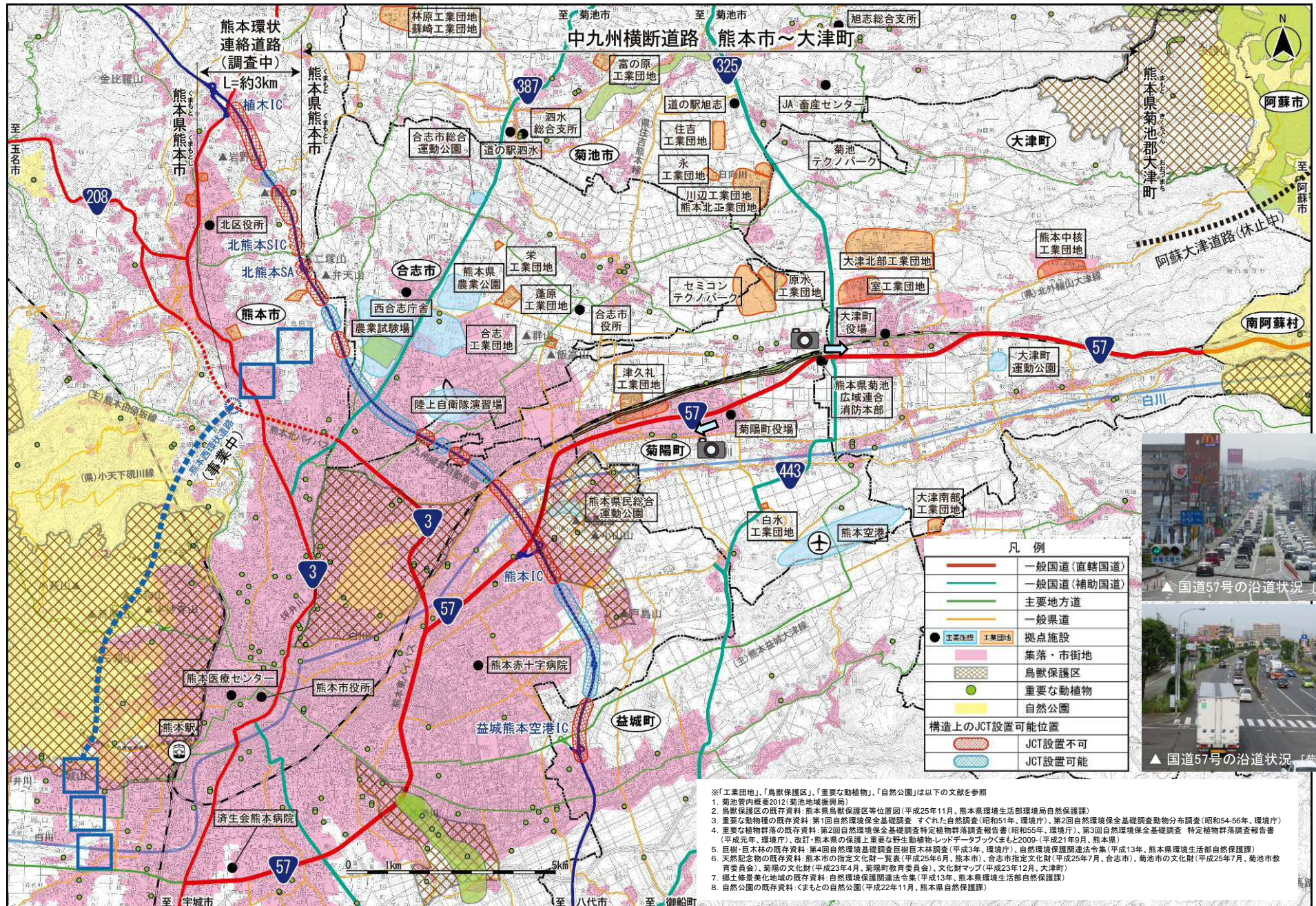


基本コンセプト: 大分市～熊本市を最短時間で連絡するとともに、九州縦貫道へのアクセスや走行性の向上を図り、産業の活性化や観光振興、都市圏の渋滞緩和を目指す

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

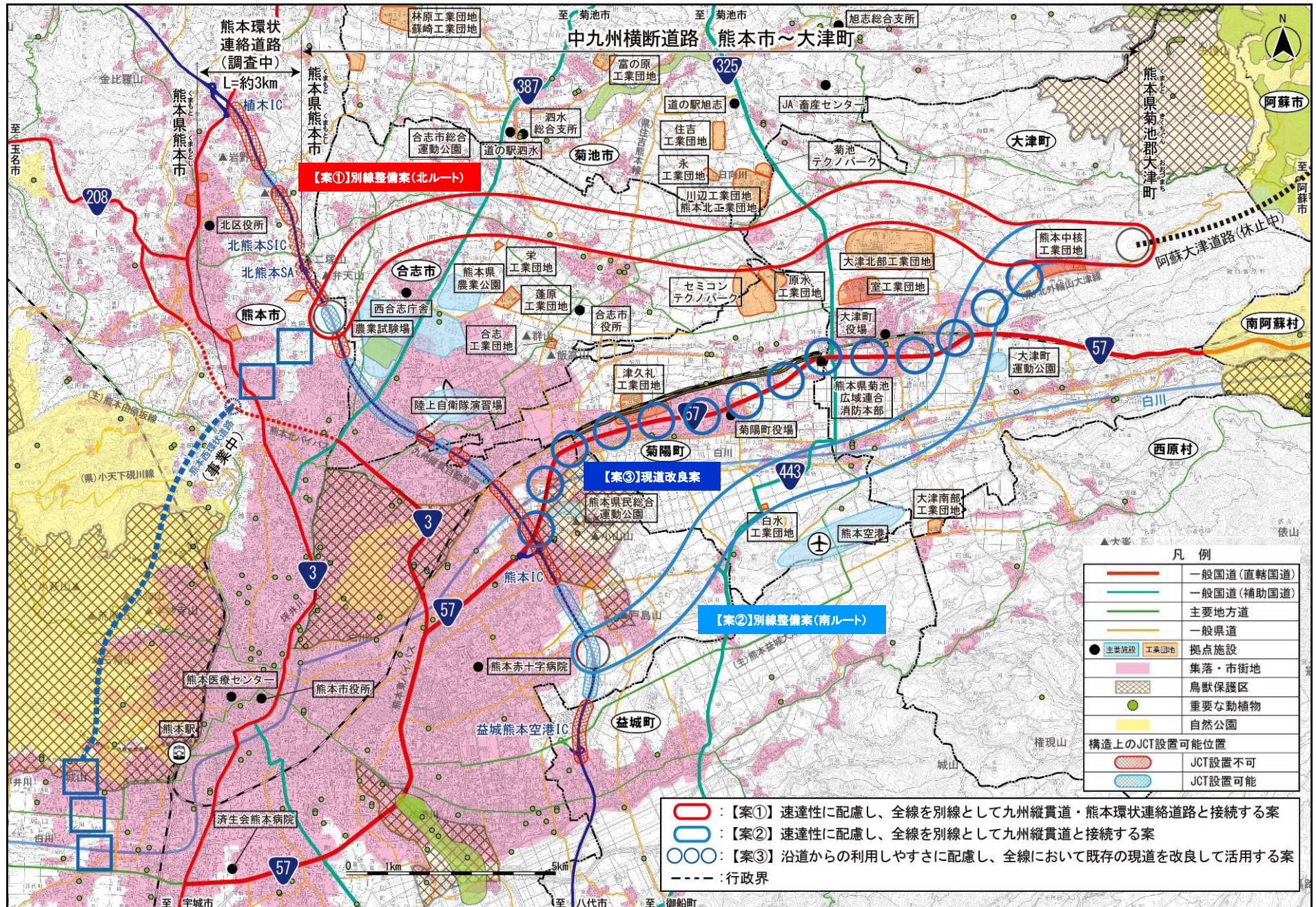
4. 複数案の検討<ルート帯選定にあたって考慮すべき拠点施設等>

■ ルート帯を検討する上で主要なコントロールポイントとして拠点施設、集落・市街地などに配慮する。



4. 複数案の検討＜計画の基本的方向(ルート帯案の概要)＞

■「全線で新しく自動車専用道路を整備する案(北ルート、南ルート)」と、「現国道57号を改良する案」の3ルート帯を設定。



4. 複数案の検討＜計画の基本的方向(ルート帯案の比較表)＞

■3つのルート帯の特徴を、「政策目標」と「道路整備による影響」の視点から整理。

評価項目		【案①】別線整備案(北ルート)	【案②】別線整備案(南ルート)	【案③】現道改良案
		自動車専用道路 (設計速度:80km/h)	自動車専用道路 (設計速度:80km/h)	一般道路 (設計速度:60km/h)
項目	指標	速達性に配慮し、全線を別線として九州縦貫道・熊本環状連絡道路と接続する案 延長 約20km	速達性に配慮し、全線を別線として九州縦貫道と接続する案 延長 約18km	沿道からの利用しやすさに配慮し、全線において既存の現道を改良して活用する案 延長 約15km
政策目標	高速度性や走行性の確保による産業の活性化	県庁所在都市間(大分～熊本)の移動時間 ・時間短縮や走行性が向上し、物流の効率化が見込まれる	・時間短縮や走行性が向上し、物流の効率化が見込まれるものの、効果は案①より小さい	・時間短縮や走行性が向上し、物流の効率化が見込まれるものの、効果は案①より小さい
	救急医療機関への速達性・確実性の向上	工業団地から福岡方面への移動時間 ・工業団地から高速道路までの所要時間が短縮し、物流の効率化が見込まれる	・工業団地から高速道路までの所要時間は短縮するものの、物流の効率化への効果は案①より小さい	・工業団地から高速道路までの所要時間は短縮するものの、物流の効率化への効果は案①より小さい
	救急医療機関への速達性・確実性の向上	第3次医療施設までの搬送時間や患者への負担 ・救急搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれるものの、効果は案②より小さい	・救急搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれる	・救急搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれるものの、効果は案②より小さい
	高速度性の確保による観光振興の促進	観光地への移動時間(熊本駅(新幹線)～阿蘇間等) ・移動時間短縮が大きく、観光振興への効果が見込まれる	・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれるものの、効果は案①より小さい	・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれるものの、効果は案①より小さい
政策目標	高速度性の確保による観光振興の促進	観光地への移動時間(熊本空港～阿蘇間等) ・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれるものの、効果は案②より小さい	・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれる	・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれるものの、効果は案②より小さい
	渋滞緩和による生活環境の改善	熊本都市圏の交通渋滞緩和 ・別線に交通が転換するため、熊本都市圏の渋滞が緩和する	・別線に交通が転換するため、熊本都市圏の渋滞が緩和するものの、効果は案①より小さい	・熊本都市圏の渋滞が緩和するものの、効果は案①より小さい
道路整備による影響	環境面※	生活環境 集落・市街地の大気質・騒音の影響 ・集落・市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	・集落・市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	・集落・市街地に近接・通過するため、影響を与える可能性がある
		自然環境 重要な動物の生息地等 重要な植物・群落の生育地等 自然公園など生態系の保全上重要なまとまって存在する自然環境の影響 ・概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	・概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	・概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい
	新たな道路ネットワーク	熊本都市圏のネットワーク形成 ・九州縦貫道と連結することにより、熊本環状連絡道路と一体となった新たな道路ネットワークが形成される	・九州縦貫道と連結することにより、新たな道路ネットワークが形成される	・既存の国道を改良するため、新たな道路ネットワークは形成されない
	家屋への影響	移転が必要となる家屋等の数 ・集落等を回避するため、影響は小さい	・集落等を回避するため、影響は小さい	・沿線の市街地等を拡幅により改良するため、沿線地域への影響が大きい
	沿道利用	沿道からの利用 ・沿道からの利用は、自動車専用道路のためインターチェンジに限定される	・沿道からの利用は、自動車専用道路のためインターチェンジに限定される	・沿道からの利用は、一般道路のためどこからでもアクセス可能
	早期効果の発現	発現の時期 ・部分的な効果発現が困難	・部分的な効果発現が困難	・現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込める
コスト	整備に要する費用 約750 ～ 800億	約1,000 ～ 1,050億円	約650～700億円	

※ 自動車の走行や道路の存在に伴い影響を及ぼす可能性のある事項として整理したもの

5. 第2回意見聴取方法(案)

5. 第2回意見聴取方法(案)

1. 意見聴取の基本方針

- ・ ルート選定にあたり、重要視する観点を把握する。
- ・ インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、重要視する観点を把握する。

- ※1 ヒアリングは、団体の代表者及び企業等へ対面方式での意見聴取。
- ※2 オープンハウスは、各自治体市役所等での説明。アンケート票による意見聴取。
- ※3 アンケートは、地域住民にアンケート票を配布し意見聴取。



対象者		
ヒアリング※1	【沿線自治体及び団体代表者】熊本県・関係市町・団体への意見聴取	
	沿線自治体:熊本県、熊本市、合志市、菊池市、菊陽町、大津町	6名
	各団体:トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所・商工会、消防署、警察、農協、観光協会等	21団体
	【企業等】対象地域の関連企業(熊本県、大分県、福岡県)へ意見聴取	
	各企業:製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉	主要100社
オープンハウス ※2	【地域住民】沿線の熊本市、合志市、菊池市、菊陽町、大津町の市役所等にオープンハウスを設置	
	熊本市:市役所(北区役所、東区役所)、合志市:市役所、菊池市:市役所、菊陽町:役場、大津町:役場	—
アンケート※3	【地域住民】沿線の熊本市、合志市、菊池市、菊陽町、大津町の地域住民へ配布	
	熊本市:北区 (61,000戸)	3,000部(抽出)
	熊本市:東区 (83,000戸)	3,000部(抽出)
	合志市 (21,000戸)	3,000部(抽出)
	菊池市 (18,000戸)	3,000部(抽出)
	菊陽町 (15,000戸)	3,000部(抽出)
	大津町 (13,000戸)	3,000部(抽出)

5. 第2回意見聴取方法(案)

2. 住民アンケート(案)

① 調査概要

■ 調査の主旨、質問事項について説明。

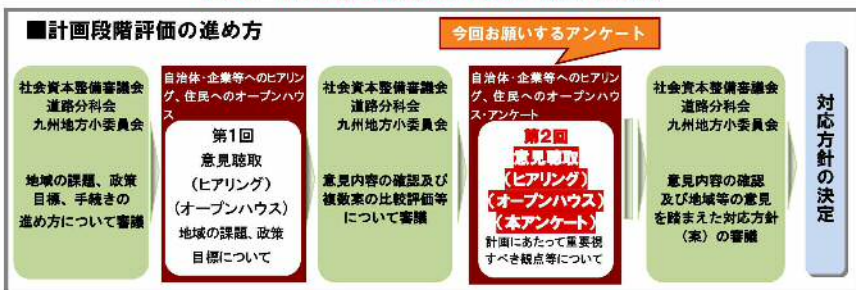


本アンケートは、中九州横断道路(熊本市～大津町)について、国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所より、みなさまにご意見(計画にあたって重要視すべき観点等)をお伺いするものです。調査の主旨へのご理解とご協力をお願い致します。

本アンケートは対象地域の住宅に無作為で配布を行っております。その為、配慮が至らない点、また回答が困難な方の元に配布されている場合がありますこと、ご理解・ご容赦くださいますよう、併せてお願い致します。

本事業は、環境影響評価法(平成9年法律第81号)に基づく計画段階環境配慮書(配慮書)の対象事業となることから、この意見聴取は環境影響評価法に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。

アンケートにご協力くださいますよう、お願いします。



中九州横断道路

中九州横断道路は、大分県大分市から熊本県熊本市に至る延長約120kmの地域高規格道路で、これまでに約13kmが無料の自動車専用道路として開通済みです。このうち、今回のアンケートの対象となるのは熊本市から大津町に至る約20kmとなります。

【広域図】



【市町村位置】



アンケートにお答えください(回答は返信はがきに記入してください)

■ 回答の提出方法

・回答は「アンケート回答用 返信はがき」に記入し、郵便ポストに投函してください。

■ 〆切

平成26年●月●日(●)までに投函いただきますよう、お願いいたします。

質問1 対策案(ルート帯案)を検討する際に、重視すべき事項

※前頁に示した「対策案(複数のルート帯)の検討及び比較表」を参考にお答えください。

【質問1-1】(はがきの表面に記入)

対策案(ルート帯案)を検討する際に、下記の重視すべき事項について、皆様は何を重視すべきと思いますか?

①～⑬に挙げる13の事項の重要性を5段階で評価してください。

<記入例>

※「特に重視すべき」と思われた場合は、「5」
※「重視する必要なし」と思われた場合は、「1」

- ① 熊本市～大分市間を早く、スムーズに行けること
- ② 産業拠点と高速ICを結び輸送先に早く行けること
- ③ 患者に負担なく、救急病院に早く行けること
- ④ 熊本駅と観光地を結び、目的地に早く行けること
- ⑤ 熊本空港と観光地を結び、目的地に早く行けること
- ⑥ 渋滞が少なく、スムーズに移動できること
- ⑦ 生活環境(騒音など)への影響が少ないこと
- ⑧ 自然環境(動植物など)への影響が少ないこと
- ⑨ 熊本都市圏のネットワークが形成されること
- ⑩ 家屋移転が少ないこと
- ⑪ 沿道からの利用が便利なこと
- ⑫ 段階的に開通が図られ、早期に整備効果が望めること
- ⑬ 整備費用が安いこと

【質問1-2】(はがきの裏面に記入)

あなたが前記事項を重視すべきと思う理由や、前記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

質問2 インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、重視すべき事項

【質問2-1】

インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、下記の重視すべき事項について、皆様は何を重視すべきと思いますか?①～⑤に挙げる5つの事項の重要性を5段階で評価してください。

<記入例>

※「特に重視すべき」と思われた場合は、「5」
※「重視する必要なし」と思われた場合は、「1」

- ① 工業団地等との連絡による産業の活性化
- ② 救急医療機関等との連絡による緊急医療体制の支援
- ③ 主要な観光施設との連絡による観光振興
- ④ 渋滞緩和による生活環境の改善
- ⑤ インターチェンジ等に安全かつ円滑にアクセスすること

【質問2-2】

あなたが前記事項を重視すべきと思う理由や、前記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

質問3 あなた自身のことについてお尋ねします。

【質問3-1】
あなたの年代は?

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

【質問3-2】
あなたの性別は?

男 女

【質問3-3】
あなたの職業は?

会社員・公務員 パート・アルバイト 農業 自営業
主婦 学生 無職 その他

【質問3-4】
あなたのお住まいはどこですか?

熊本市 合志市 菊池市 菊陽町 大津町
その他 []

5. 第2回意見聴取方法(案)

2. 住民アンケート(案)

②第1回意見聴取の結果概要、地域の現状と課題、政策目標、対策案の検討

■第1回意見聴取の結果、沿線地域の現状と課題、政策目標、対策案検討の考え方を説明。

第1回意見聴取の結果概要

第1回意見聴取として、地域および道路・交通の課題並びに政策目標について、関係自治体及び主要団体・企業へのヒアリングを、沿線地域ではオープンハウスを実施しました。

地域および道路・交通の課題並びに政策目標として、物流・産業、医療、観光、暮らし等に関する多様な観点からのご意見、その他、道路整備に対する生活環境、経済性等の観点から数多くの意見をいただきました。

■意見聴取の概要

	意見聴取方法	概要	実施状況
自治体	ヒアリング	熊本県、熊本市、合志市、菊池市、菊陽町、大津町	1県 5自治体
団体	ヒアリング	トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所、商工会、消防署、警察署、農協、観光協会 (熊本市：11団体、菊池市：5団体、合志市：1団体、菊陽町：2団体、大津町：2団体)	21団体
企業	ヒアリング	対象地域の主要企業 (熊本市28社、合志市17社、菊池市23社、菊陽町21社、大津町19社)	108社
地域住民	オープンハウス	・熊本市(東区、北区)、菊池市、合志市、菊陽町、大津町で、平日、休日各1日、オープンハウスを開催 ・来場者に概要を説明後、意見聴取を実施	730人

■主な意見

1) 物流・産業 ○国道57号は、物流業者にとって熊本～大分間の唯一のルートであり、時間がかかるのは大きな障害。 ○牛の生体は、旭志の畜産センターに集めた後九州外に輸送しているが、熊本ICまでの道が狭くカーブも多く、走行性が悪い。 ○地方の道路整備の遅れは、地域の活性化にも大きく影響していると言える。企業等も高速道等の高規格道路周辺の交通利便性の高い所への立地となっているため、特に道路網の確立には期待する所が大きい。
2) 医療 ○阿蘇地域は高度な医療サービス(三次救急医療施設)を熊本市内に依存しているが、搬送時間を要していることは重篤患者にとって、致命的な課題となっている。 ○現在の救急搬送ではドクターヘリが活躍しているが、1回飛びとそれなりのメンテナンス時間がかかり、ヘリだけでカバーするのは限界がある。やはり救急車(陸路)での搬送ルートを確保することは大切である。
3) 観光 ○アクセス性が向上すれば、ツアーの周遊可能地域が広がり、より顧客ニーズに合わせたサービスを提供することができる。 ○世界的にも有数の規模と景観を持つ阿蘇地域の観光資源を活用するうえでの阻害要因になっている。

4) 暮らし ○企業誘致などによる企業の進出に伴い、町内全域で通勤時間帯の慢性的な渋滞を引き起こしており、バス等の公共交通機関の遅延防止等の渋滞緩和に向けた取組みが必要。 ○熊本市内に行く場合、時間帯によっては普段の2~3倍の時間がかかる。 ○生活道路と物流・産業ルートが分けられることで安全が守られるのではと思う。
その他 ○現状の国道57号は、慢性的な渋滞等により定時性や安定走行性が確保されておらず、地域や道路・交通に課題がある。それらの課題を解決するためには、今回の計画段階評価性対象区間(熊本市から大津町圏)の早急な整備が必要である。 ○各主要地からアクセスしやすいICを設置するようにしてほしい。 ○周辺の自然環境や騒音に配慮した道路づくりを行ってほしい。 ○大分までの道路整備が必要。特に時間短縮のために自動車専用道路での整備が必要。

政策目標

対象地域の課題を解消するための政策目標は、以下の4つであると考えています。

- 物流・産業：高速性や走行性の確保による産業の活性化
- 医療：救急医療機関等への速達性・確実性の向上
- 観光：高速性の確保による観光振興の促進
- 暮らし：渋滞緩和による生活環境の改善

対策案の検討

政策目標を達成するための対策案を検討しました。

【物流・産業】

熊本～大分間の移動時間短縮、九州縦貫道へのアクセス強化、走行性の向上による物流効率化に伴う産業活動の活性化

【医療】

熊本市の第三次救急医療機関等への速達性、確実性の向上により、緊急医療体制を支援

【観光】

国内屈指の観光地である阿蘇地域のポテンシャルを最大限に活かし、連絡性向上により菊池地域など周辺観光施設と一体となった広域的なネットワークの確保

【暮らし】

熊本市圏における交通渋滞の緩和による通勤時間の短縮、交通安全性の向上等、生活環境の改善

○対策案を検討する上での配慮事項

【生活環境・自然環境の保全と調和】

【沿道利用】

【経済性への配慮】

<基本コンセプト>

大分市～熊本市を最短時間で連絡するとともに、九州縦貫道へのアクセスや走行性の向上を図り、産業の活性化や観光振興、都市圏の渋滞緩和を目指す

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

5. 第2回意見聴取方法(案)

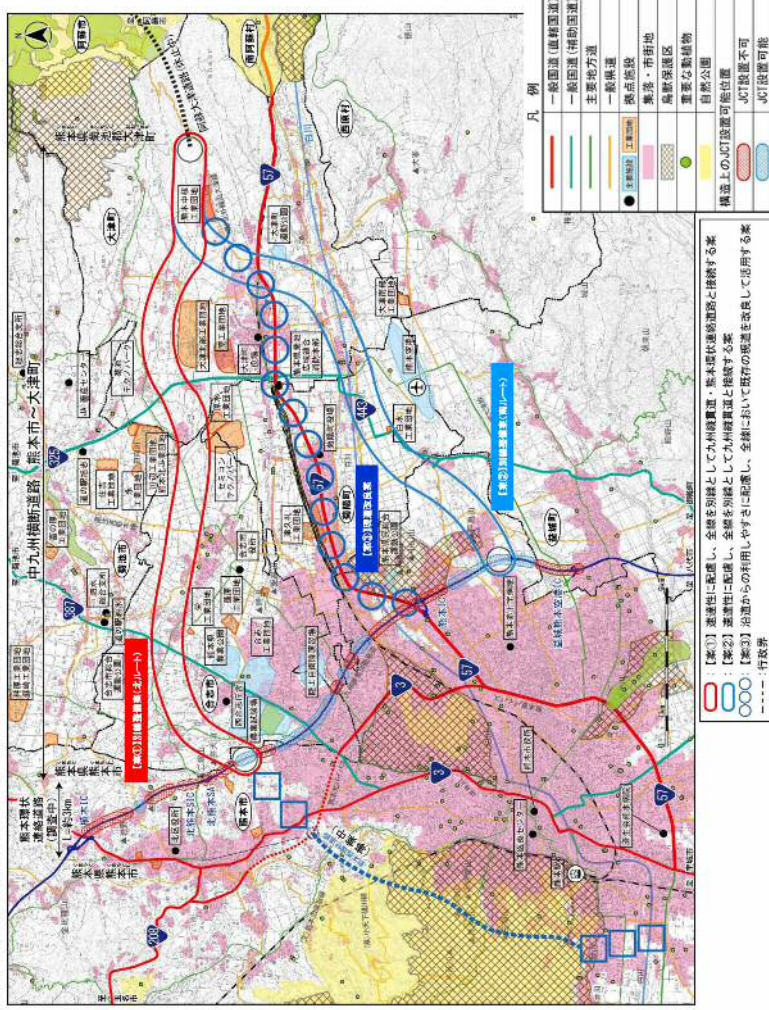
2. 住民アンケート(案)

③ 対策案

■ 各対策案の概要と各評価項目における整備効果を図と比較表を用いて説明。

対策案(複数のルート帯)の検討

地域の課題を解決するために、以下のような対策案（3つの比較案）を検討しています。



対策案(複数のルート帯)の比較表

項目	評価項目	【案①】別線整備案(北ルート)		【案②】別線整備案(南ルート)		【案③】別線改良案	
		自動車専用道路(設計速度:80km/h)	九州横断道・熊本県道と接続する案 延長 約20km	自動車専用道路(設計速度:80km/h)	国道に配慮し、全線を別線として九州横断道と接続する案 延長 約18km	一般道路(設計速度:80km/h)	国道からの利用しやすさに配慮し、全線において既存の道路を改良して使用する案 延長 約19km
歩行者・自転車・乗用車・トラック等の通行	歩行者・自転車・乗用車・トラック等の通行	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい
産業・商業・住宅・学校等の通行	産業・商業・住宅・学校等の通行	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい
観光・レジャー等の通行	観光・レジャー等の通行	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい
環境・生態系等の影響	環境・生態系等の影響	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい
社会経済的影響	社会経済的影響	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい	歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られる *歩行者や自転車・乗用車・トラック等の通行が向上し、物流の効率化が図られるもの、効果は案1より小さい
コスト	コスト	約750 ～ 800億	約1,000 ～ 1,050億円	約650 ～ 700億円	約650 ～ 700億円	約650 ～ 700億円	約650 ～ 700億円

※ 自動車の走行や道路の存在に伴い、影響を及ぼす可能性のある事項として整理したものを示す。

5. 第2回意見聴取方法(案)

2. 住民アンケート(案)

④返信用はがき

■「回答者の属性」「対策案(ルート帯案)」「インターチェンジ」について確認。

郵便はがき


8 6 0 - 8 7 9 0

科金受取人私郵便
熊本中央局
承認

熊本県熊本市東区西原1丁目12-1

中九州横断道路(熊本市~大津町)
計画段階評価 事務局 行

差出有効期間
平成26年9月
30日まで
(切手不要)



**中九州横断道路(熊本市~大津町) アンケート
回答用 返信はがき**

質問 1-1 対策案(ルート帯案)を検討する際に、重視すべき事項の重要性を5段階で評価してください。

重視すべき事項	【1~5のいずれかに○をつけてください】				
	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきでない	重視する必要なし
①熊本市~大分市間を早く、スムーズに行けること	5	4	3	2	1
②産業拠点と高速ICを結び搬送先に早く行けること	5	4	3	2	1
③患者に負担なく、救急病院に早く行けること	5	4	3	2	1
④熊本駅と観光地を結び、目的地に早く行けること	5	4	3	2	1
⑤熊本空港と観光地を結び、目的地に早く行けること	5	4	3	2	1
⑥渋滞が少なく、スムーズに移動できること	5	4	3	2	1
⑦生活環境(騒音など)への影響が少ないこと	5	4	3	2	1
⑧自然環境(動植物など)への影響が少ないこと	5	4	3	2	1
⑨熊本都市圏のネットワークが形成されること	5	4	3	2	1
⑩家屋移転が少ないこと	5	4	3	2	1
⑪沿道からの利用が便利なこと	5	4	3	2	1
⑫段階的に開通が図られ、早期に整備効果が望めること	5	4	3	2	1
⑬整備費用が安いこと	5	4	3	2	1

⇒ 裏面に続きます

質問 1-2 あなたが前記事項を重視すべきと思う理由や、前記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。【自由回答】

質問 2-1 インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、重視すべき事項の重要性を5段階で評価してください。
【1~5のいずれかに○をつけてください】

重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきでない	重視する必要なし
①工業団地等との連絡による産業の活性化	5	4	3	2	1
②救急医療機関等との連絡による緊急医療体制の支援	5	4	3	2	1
③主要な観光施設等との連絡による観光振興	5	4	3	2	1
④渋滞緩和による生活環境の改善	5	4	3	2	1
⑤インターチェンジ等に安全かつ円滑にアクセスすること	5	4	3	2	1

質問 2-2 あなたが前記事項を重視すべきと思う理由や、前記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。【自由回答】

質問 3 あなた自身のことについてお尋ねします。
【該当するものにチェック及び記入をお願いします。】

年齢	<input type="checkbox"/> 10代	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代	性別	<input type="checkbox"/> 男
	<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代	<input type="checkbox"/> 70代以上	<input type="checkbox"/> 女		
職業	<input type="checkbox"/> 会社員・公務員		<input type="checkbox"/> パート・アルバイト			
	<input type="checkbox"/> 農業		<input type="checkbox"/> 自営業			
	<input type="checkbox"/> 主婦	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> その他		
住所	<input type="checkbox"/> 熊本市	<input type="checkbox"/> 合志市	<input type="checkbox"/> 菊池市	<input type="checkbox"/> 菊陽町	<input type="checkbox"/> 大津町	
	<input type="checkbox"/> その他 []					

●お答え頂いた意見および個人情報、本アンケート以外の目的で使用することは一切いたしません。
●みなさまの貴重な意見のとりまとめに必要となりますので、記入漏れがないようにお願いします。

ご協力ありがとうございました